

ご挨拶

志を継いで

(日蓮宗現代宗教研究所長)

久 住 謙 是

平成十五年一月三十日、岩間湛正新宗務総長就任に伴う内局認証式で、所長認証の伝達を受けた。突然の指名で、心の整理のつかぬ間に慌ただしく認証を受けたその日のうちの所報原稿ということで、新任所長としてのご挨拶でご容赦を請う。

日蓮宗は、宗祖立教開宗七百五十年正当を迎え、二十一世紀へ向けた機構改革を行い、時代に即応した活きた教団づくり、伝道主体の組織を目指し、実働の緒についた。しかし、真の伝道体制には、多くの課題が山積している。グローバル化が席卷する世界、環境と心破壊の現代に、大白法である本化の教法を伝える方策、現代に適応した「弘教の用心」、言い換えれば伝道の戦略が望まれる。現宗研の研究・調査活動は、本化の弘教による立正安国を指し示すことを目指すものであろう。

昨年四月二十四日、突然遷化された石川教張元所長が長年構築し、石川浩徳前所長がその志を継いだ現宗研活動を受け、微力ながら、私もお手伝いさせて頂きたく、ご教導の程お願い申し上げる次第である。

合掌